

## 1. 排水設備情報システム

### 概要

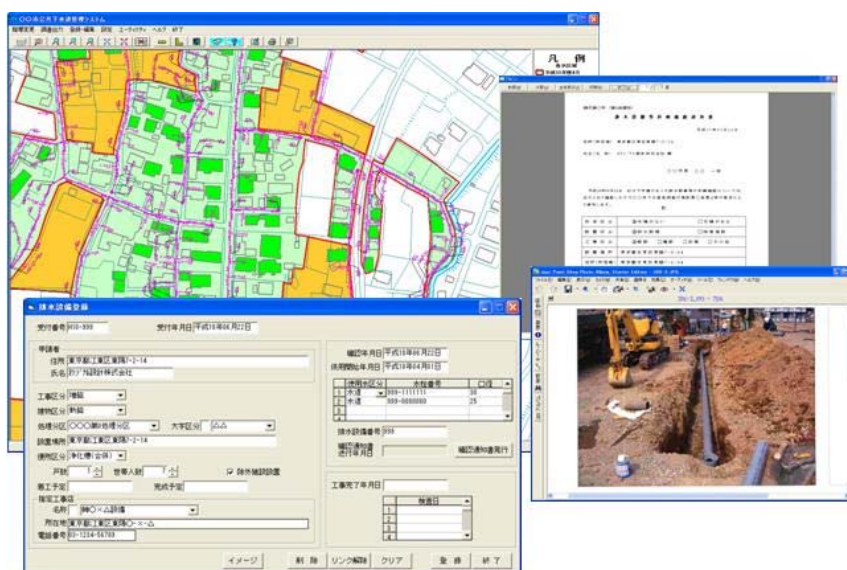
下水道の使用者台帳とも言える排水設備情報をGIS上で管理し、申請業務の支援や普及状況を地図上で可視化することが維持管理に求められています。

本システムで、下水道条例で定められた排水設備申請、確認、完成検査といったワークフローをシステム化し、業務の効率化を進め、自己成長型のデータベースを構築することが必要です。

### 業務実施のメリットや効果

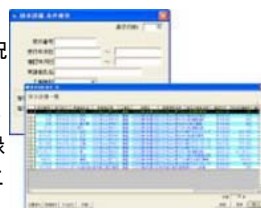
- ① 排水設備申請業務のワークフローをシステム化することで、業務の効率化やデータ蓄積ができます。
- ② 排水設備の設置状況が地図上で把握できます。
- ③ 水洗化率や普及率算定の基礎データとなります。
- ④ 工事図書や図面などのファイリングが可能となり、書類保管コストを削減します。

自治体独自の条例に準じたデータ項目、調書書式にカスタマイズが可能です。また、豊富な導入実績により、既存エクセルデータ等からのデータベース構築や地図との関連付け業務など、システム導入コンサルティングも併せて行うことができます。



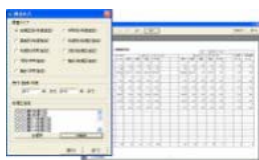
#### ●情報登録機能

住宅地図や家屋現況図などを用いて、排水設備申請書、工事完了届の情報を登録します。また、指定工事店マスタの追加が容易に行えます。



#### ●情報検索機能

受付、確認年月日の期間、指定工事店等の条件を指定した検索が可能になります。また、検索結果から家屋の位置表示、エクセル出力や帳票印刷も可能となります。



#### ●調査出力機能

処理区・工事店・字町毎に、年度、月別集計の調査作成が可能になります。申請件数、排水可能人口、世帯数を容易に算出します。



#### ●分布表示機能

建物・工事区分や申請済み、確認通知書の発行の有無など、登録データから位置情報を色分け、分布表示することができます。